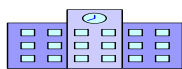


学校だより第9号 平成29年12月1日(金) 学校教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成



きざき



— 児童が目を輝かせて、
明日の授業を楽しみにする学校 —

TEL048-831-2281

URL <http://kizaki-e.saitama-city.ed.jp/>

E-Mail kizaki-e@saitama-city.ed.jp



さいたま市立木崎小学校

児童数 850 名

「私たちがあきらめたらダメです」

校長 豊島 登

校庭のイチョウの大木が黄色に染まって今が見頃となりました。ケヤキやサクラはあらかた落葉し、教室からの景色は見渡しよくなりました。その分、風の冷たさ、冬の寒さを感じます。大きな学校行事で賑わった2学期も、残りわずかとなってきました。

さて、11月13日に、「木崎小学校 防犯・安全ネットワーク会議」を開催しました。この会議には、日頃から児童の安全を見守っていただいている青少年育成木崎地区会、地元自治会、交通指導員、交通安全協会、学校防犯ボランティア、PTAから、それぞれ代表の方にお集まりいただいています。また、さいたま市教育委員会からも指導者として、防犯ボランティアリーダーの方に、毎年参加していただいている会議です。

本会議の目的は、「木崎小学校の児童の安全を図るために、学校・PTA・地域の三者が協力し合って協議、検討し、具体的な措置を実施する」ことです。それぞれの取組について報告をした後、情報交換をします。毎日のように、子どもを見守り、子どもと直接かかわっていただいている方からの情報ですから、とてもリアルです。そんな情報のひとつに、「寒くなってきたので、ポケットに手を入れて歩く子が多くて危ない」というものがありました。私もよく注意しますが、なかなかなくなりません。ボランティアの方が毎日のように声をかけても目に見える成果がない…。大げさな言い方をすると、“永遠の課題”なのかもしれません。私は、こうした課題はそう簡単にはなくならないものだとは割り切って対処すべきだと考えています。すると、参加者のお一人がきっぱりとこう言われました。

「私たちがあきらめたらダメです」

毎日のように声をかけることは無駄なことではない、できなかつたら何度でも繰り返し声をかけてあげよう、いつか響いてくれる、そんな趣旨の発言でした。私は、これを聞いてとてもうれしくなりました。そして、勇気と元気をいただきました。子どもたちには、注意してくださる大人の存在に気づき、感謝できたらいいなと思います。

また、正しい知識を与えることや対処法を身に付けさせることも大切です。ポケットから手を出して両手をあけていれば、危険を察知したときにとっさに逃げることができます。さらに、寒さには手袋をすることで対処できます。

こうした指導は、学校でも継続して行っていますが、ぜひご家庭でも、自分の身を守るための対策を具体的にとれるよう話し合ってください。事故のないよう1年を締めくくりましょう。